

蕎麦を心地よく食べる

野暮な大荷物を抱えて入った利久庵。今一番荷物が置きやすい席にサッと導く店員さんの目配りは、常連も買い物客も多い室町の蕎麦屋らしいスキル。すぐ脇が厨房とやり取りする窓口だったんだけど、僕の荷物にすぐビニール風呂敷を掛けた心遣い。



閉店まであと三十分しかないなあと思いつつ暖簾を潜るといらっしゃい」という緩やかな声が響いたまつや。急かす素振りも見せない雰囲気が嬉しい。しかも閉店十分前くらいでも、いらっしゃいは変わらないのだ。ラストオーダーは閉店三十分前で、それを過ぎたら入れませんなんて絶対言わない。

最初の一囗は汁を付けずに食えだの、バーコードのよう敷き詰めたせいろだの、子供はお断りだのは、僕の中の蕎麦屋ではない。涙があつて昼時には近所のサラリーマンがいて、千円以内でちゃんとお屋ご飯になるどこ。出来れ

勝手にお気に入り5
勝手にお気に入り5
勝手にお気に入り5
勝手にお気に入り5
勝手にお気に入り5

高野金次郎商店

親切第一 平成29年1~2月号

版元: 東京ベンギン堂本舗・高野ひろし 豊島区北大塚2-26-2

fax: 03-3917-1949 RXM04421@nifty.com

協力: 高島平電腦研究所、築地河岸工房

関連ウェブ: 各種検索エンジンで「東京ベンギン堂本舗」検索すると

関連ウェブに辿り着けます。http://jpg.arrow.jp/

聞くほどに心に響くのだ。
グッとくる哀切と淒みが、
聞くほどに心に響くのだ。

- ・茶金
- ・二番煎じ
- ・笠碁
- ・柳田格之進
- ・そば清
- ・ベスト5嘶



完成らしいよ。長い間寂しかった五丁目交差点も、やっと明るくなる。松坂屋って名前が復活しないのは淋しいけど、来る者あれば去る者もいるね。ああ来たサルもいたつけ……。

ビルがあつたたけど、フフ。ここは新しい名古屋商工会館。古めかしくて格好良かっただ前のビルは、建て直して

ビルがあったたけど、フフ。昔はゴリラがへりつく

今年が申年なら良かったのにねえ。せつかく銀座にサル君たちが来たんだからさ。そういうやレンガ通り沿いにもひとりいたけなあ。ビルとビルのほそい隙間の入り口に。彼に誘われて歩いてきたら、君らにあつたんだ。まだ銀座に来て数ヶ月でしょ? 僕の記憶では、この街のサルは、地下鉄東銀座駅から四丁目交差点方向に伸びる地下道の干支オフジエだけだけだと思うよ。

銀の輔銀座千枚



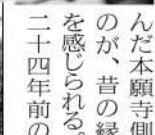
る発想はいいと思うな。しかも突き当たりには、銀座で一番分かり難い場所にある宝童稲荷。路地がちゃんと参道になつたもんね。豊岩稻荷みたいに人気者になると嬉しい。

大通りも完成やら工事中やら大変さ。元の松坂屋は今年

東京プロチアーカイブ・前の前の前の西年の銀の輔

銀の輔も鳥、ですよねえ。三十年ばか

巡っていたから。



愛する枝川公一さんが「彼は君の身分だね」って言ったように、あの短足ボテ腹を見るにつけ、どうも他人という気がない。広重描く洲崎十万坪で見事な俯瞰を見せる驚と我が銀の輔が、到底同類とは思えないんだ。せめて酉年だったと微かな期待を抱くものの、これはつまりは誰にも分からぬ。彼の故郷銀座松屋にも、もう知る人はいないだろう。だけど前々回の酉年の時には、もううちにいたのは確か。田中建具のシゲちゃんに貰つたレオタックスつて古いカメラにモノクロフィルムを詰めて、好きな街を経

酸っぱい臭いがする二十四年前の不力
を引っ張り出してみたら、一本のフィル
ムにあちこちの風景が貼り付いてた。
上野桜木あたり、逆アーチ型の木戸。
昔はよくあったな。そして概ね白バンキ
で塗られて、その多くが剥げていた。美
術の先生あたりが住んでいたそうね。建
物の玄関が遠くて、「すいませ〜ん！」
届かない距離。ワーゲンのビートルかな
んかが入っても格好良い。

は銀の輔と歩けるまでになっていたけど、まだ殆ど酒が飲めなかつたので、琉球泡盛の乙姫へのハーディルは、とてつもなく高かつた。時を経て淺草は様変わりし、こには大きなマンショヨンが建ち、小奇麗な乙姫として再出発したけど、開いてる姿を見なくなつて幾星霜。

激変東京で有難いのは、社寺の風情が何とか時の流れに耐えていること。勿論建替え等もあらるにはあるけど、湯島天神みたいな超有名スポットは、取り敢えず昔の趣をたたえている。

あるけど、反対側は暮らししが見えてるんだ。一世紀以上かけて育んできた人の営み。次の酉年の頃、この街々はどうなっているんだろうね。

通りを越える勇気がなかつた。千束通りの向こ
うに吉原や山谷を妄想してたから。そもそも、
ひざ二通りのよつて忍かつたのぞ。でもこの貞こ
この家並みも、もしかしたら今も残つてゐるかも知れない。市場周辺は観光地こゝか見えない寺が



シャッターが閉まってもなお電気街 梅里

ガード下電子バーツは早寝なり



呼び込みの女子林立の裏通り



夜の秋葉原の旅



激変の街を写して神田川



火伏せの神の秋葉様、どうの

ル活用、看板ネオン広告塔、電

板塀、菊正宗が呼んでる、薄暗がり

更地角神も仏もどいてくれ

昔に越したけど、電気も電子も
パソコンも、各種ラタクを巻き
込んで、萌えに萌えてる秋葉原、
週末平日変わりなく、世界の人
がウロウロと、巡る道筋裏表、
夜ともなれば大方の、店は早々
シャッターを、降ろし早寝の街
なれど、夜には夜の秋葉原、店
は閉まれば煌々と、夜間料金フ

激増す、飲食店や居酒屋は、老
若男女を取り込んで、昭和の夜
の閑散は、想像出来ぬ賑わいに、
一本裏に回り込みや、メイド喫
茶の呼び込みが、ずらり並んで
声掛ける、池袋でも新宿たって、
見られぬ夜の風景に、呆気に取
られて横見れば、老舗居酒屋黒

は柳森、神社のたぬきは何思う、中央
線に総武線山手線が陣を組み、囲む
世界の電気街、昼より更に落ち着か
ぬ、気持ち整理に懐かしき、食堂潜つ
て深呼吸、怪しく明るい光街

南大塚萬重宝
ミナミオツカヨロズ チョウホウ

北口番外編

東京大塚カウンター異聞
K'sバーの人々

見えもカラオケの歌詞が流れ
そうな気配。割り箸に挟まつ
た千円札が一杯刺さる熊手と
煤けた招き猫。どう考へても
バーじゃない。スナックより
も居酒屋に近い。

「アナタ、ハンバークがお好きですか?」「なんだやぶから
ぼうに」「大塚だつたら何処
がいいですかね」おいおい、
そういう話じゃないだろ!

ガラス修理でしようが。「あ

の、どここのガラスが割れたん

ですか?」と一気に本題を持

ち込んだ僕を、「やっぱりゴ

トーですかね」とオジサン、

止める気配がない。

「すいません、ガラスなんで

すけど…」と言いながら、もう

一度店内を見回した。この手

の店が急にガラス屋を呼ぶの

は、酔客がどこかのガラスを

割ったか、保健所が来るから

食器棚のガラスを入れるから

どっちかに決まってる。

「いやいや申し訳ない。ア

タシが電話したのはね、ハン

バーのことを聞こうと思いましてね」「あの鐘ヶ淵さん、

かな?」「知ってるくせに。

「そりゃゴトーもアカネも

うーん、これはバーという

よりはスナックだ。扉を開け

た途端思った。カウンターは

安物合板、古いアパートの廊

下にありそうな照明が3つ4

つ。年季の入ったジューク

ボックス、その上には液晶モ

ニターがあるけど、最貧目に

* * *

「おお、来ましたねベンギ

ンさん」小さな窓から鐘ヶ

淵さんが顔を出した。

「おお~野辺山シユツボッ

ボ牛乳じゃないですか!」「

「いかがです、一杯?」「二ヤ

りと笑う顔が不気味に思えて

きた。この人は僕の牛乳好き

まで知ってるのか?…いやいや

や、そんなはずはない。でも

「じゃあ遠慮無く」呆氣無く

白旗を振つて自分の情けな

いけど、ガラス屋は諦めた。

「久々ですよ、これ」「おや、

ベンギンさんも牛乳好きです

ましてね」「あの鐘ヶ淵さん、

僕はガラス屋んですよ。そ

して今は仕事中で、ハンバ

ー

美味しいけど、最近はシェ・ハ

ラダでランチに田てくるハン

バーが気に入ってるんで押し

す、「ほほう」、「ソースが

ドッサリ載せて」、「ワツ…そ

んなことまで知ってるのか。

「でもね、そりゃ暇で、友人が

遊びに来たら話しますけど、

他所のお宅で話すほど呑氣

じゃないんです」まあまあ

遊ぶのに来たら話しますけど、

「ハンバーグライスというメ

ニューですかね?」「カレー

が旨いって話は聞いてるんだ

ことはワンプレートですね」

「ハンバーグライス」というメ

ニューですかね?」「カレー

が旨